

オエノノホールディングス株式会社
CORPORATE PROFILE

ごあいさつ

オエノングループは1924(大正13)年に北海道旭川において、北海道内の焼酎製造4社が合併して設立された合同酒精株式会社を母体とする総合酒類メーカーです。

さらに遡りますと、創業者である初代神谷傳兵衛かみやでんべえによる、1880(明治13)年の「みかはや銘酒店」(のちの「神谷バー」)開業と1900(明治33)年の北海道旭川での「民間初のアルコール製造開始」が当社の原点となります。

「自然の恵みを活かし、バイオ技術をベースに、人々に食の楽しさと健やかな暮らしを提供します。」を企業理念に、長年に渡り、酒類製造で培ったバイオテクノロジーを基盤とした商品・サービスを世に送り出してまいりました。

そして現在、持株会社体制の下、当社グループ各社の機能分担により、焼酎・チューハイ・販売用アルコールなどの製造販売を行う「酒類事業」、酵素・診断薬・発酵受託ビジネスを手掛ける「酵素医薬品事業」、「不動産事業」などを展開しております。

昨今、私たちを取り巻く社会・経済環境の変化は目まぐるしく、少子高齢化や人口減少、地球環境問題、そして食品に対する安全や健康意識の高まりなどさまざまな変化が生じております。そのような中でも私たちオエノングループは、お客様に食の楽しさや健やかな暮らしを提供することを第一とし、これからも常にお客様の視点に立った、「安心」「安全」をお届けしてまいります。

オエノンホールディングス株式会社
代表取締役社長 西永 裕司



商号[オエノン]の由来



すべてのものをお酒に変える力を持つという伝説の女神、「オエノ」。ギリシャ・ローマ神話では「オエノ」は酒神「バックス」にその力を授けられました。

いつまでもお客様と喜びを共有するために、新しい商品・サービスを常に提供していきたい。——これがオエノングループの理念です。

バイオ技術の象徴である「オエノ」をいしえずとし、この理念を実現するために、バイオ技術をベースとしたさらなる事業の展開(「オン」)を目指し商号としました。

企業理念

自然の恵みを活かし、
バイオ技術をベースに、
人々に食の楽しさと
健やかな暮らしを提供します。

概要

社名	オエノンホールディングス株式会社 (英文社名:Oenon Holdings, Inc.)
設立	1924年(大正13年)10月31日
資本金	6,946百万円 〔2022年(令和4年)12月31日現在〕
代表者	代表取締役社長 西永 裕司
売上高	81,120百万円 〔2022年(令和4年)12月31日現在〕
所在地	東京都墨田区東駒形1丁目17番6号
電話番号	03-6757-4580(代表)
事業内容	持株会社

ホームページ/SNS公式アカウント

オエノングループ
ホームページ
<https://www.oenon.jp/>



オエノングループ
公式Youtubeチャンネル
<https://www.youtube.com/c/oenongroup>



オエノングループ
公式Instagramアカウント
https://www.instagram.com/oenon_official/



オエノングループ
公式Twitterアカウント
https://twitter.com/oenon_official

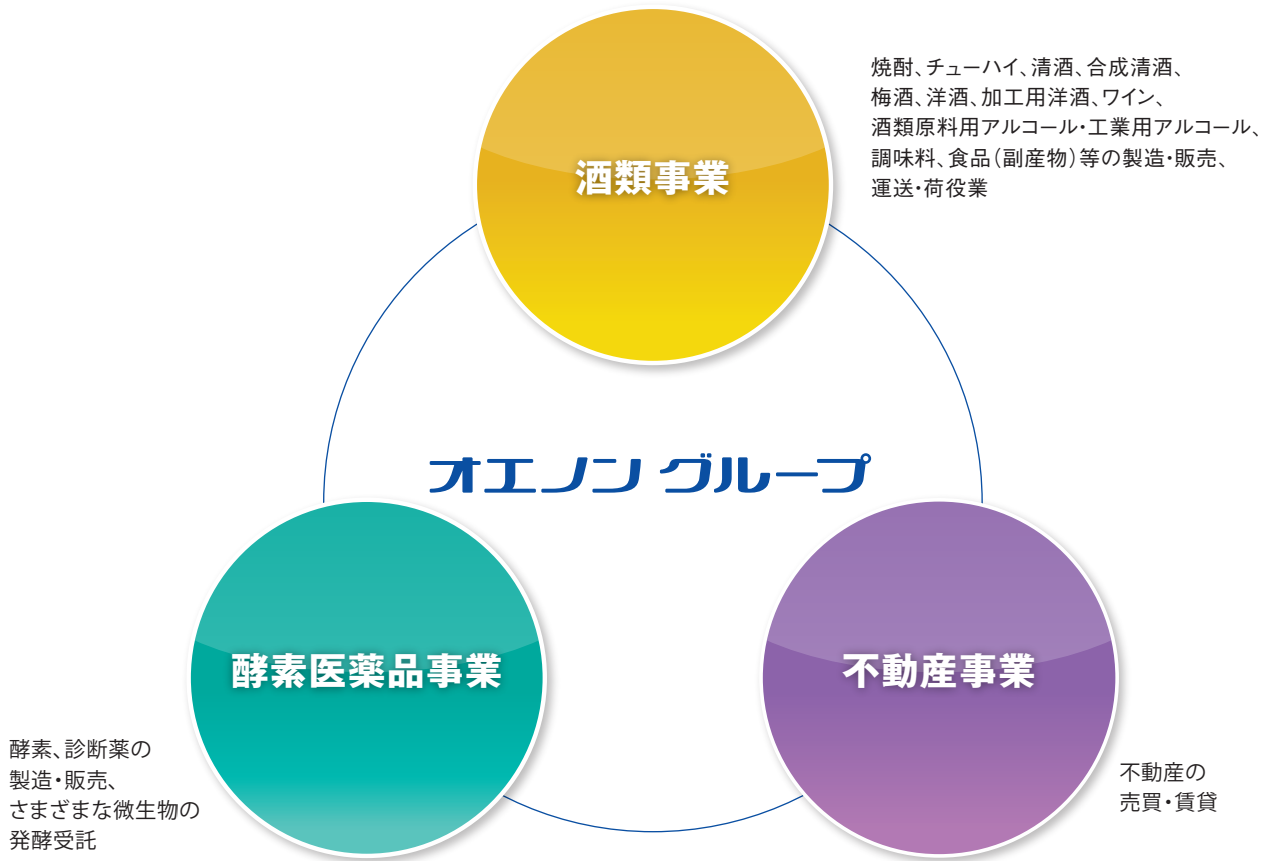


沿革

- 1880年 初代神谷傳兵衛が浅草に「みかはや銘酒店」(現:神谷バー)を開業
- 1893年頃 「電気ブラン」を発売
- 1900年 日本酒精製造(株)を開設、民間初のアルコール製造を開始
- 1903年 牛久醸造場(現:牛久シャトー)にて日本初の本格的ワインづくりを開始
- 1924年 北海道内の焼酎製造会社4社(神谷酒造(株)旭川工場、東洋酒精醸造(株)、北海道酒類(株)、北海酒精(株))が合併し、旭川市に合同酒精(株)を設立
- 1946年 東北アルコール工業(株)を合併、八戸工場とする(2013年廃止)
- 1949年 東京証券取引所に株式を上場
- 1955年 葵酒造(株)を合併、清水工場とする
- 1956年 菊美酒造(株)を合併、東京工場とする
- 1960年 神谷酒造(株)(1940年に浅草の(株)神谷傳兵衛本店が改称)を合併、吾妻橋洋酒工場とする
- 1961年 太陽醸造(株)を合併、芝浦工場とする
- 1963年 本店所在地を旭川市から東京都中央区に移転、吾妻橋洋酒工場、東京工場、芝浦工場を集約、千葉県松戸市に東京工場建設
- 1964年 西宮酒精(株)の株式を取得、西宮工場とする(2000年廃止)
- 1968年 (株)サニーメイズ(現:持分法適用会社)を設立
- 1970年 八戸工場内に酵素工場を建設(現:酵素医薬品工場)
- 1979年 ゴードー倉庫(株)(現:ゴートック(株))、(株)ワコーを設立
- 1980年 福徳長酒類(株)が「博多の華」を発売
- 1992年 しそ焼酎「鍛高譚」を発売
- 2001年 福徳長酒類(株)および秋田県醗酵工業(株)がグループに加入
- 2003年 純粋持株会社制を導入し、オエノンホールディングス(株)に商号変更、新たに子会社 合同酒精(株)を設立、富久娘酒造(株)(現:オエノンプロダクトサポート(株))がグループに加入
- 2007年 北の誉酒造(株)の株式を取得(2016年合同酒精(株)が吸収合併)
- 2008年 牛久シャトーが文部科学省より国指定重要文化財に認定される
- 2019年 本社を東京都中央区から墨田区に移転
- 2020年 牛久シャトー日本遺産認定
- 2022年 旧オエノン銀座ビル跡地にホテル「ザ ロイヤルパーク キャンパス 銀座コリドー」を建設(ホテル運営:(株)ロイヤルパークホテルズアンドリゾーツ)

事業紹介

オエノングループは、長年培った発酵技術を核とするバイオテクノロジーをベースに、酒類事業、酵素医薬品事業、不動産事業などを展開しています。



酒類事業

焼酎、チューハイをはじめ、清酒、リキュール、スピリッツなど幅広く展開しています。
しそ焼酎「鍛高譚」、 「博多の華」シリーズや「ビッグマン」など焼酎甲類・焼酎乙類・混和焼酎をフルラインアップし、「NIPPON PREMIUM」シリーズなどのチューハイや、リキュール「電気ブラン」など多種多様な商品を製造・販売しています。
さらに、組織小売業との協業によるプライベートブランドについても積極的に取り組んでいます。
その他、酒類原料用ならびに工業用アルコールの製造・販売も行っています。

酵素医薬品事業

各種酵素および診断薬等の製造・販売を行っています。
主力商品である乳糖分解酵素ラクターゼは、牛乳を飲むとおなかがゴロゴロしてしまう乳糖不耐症解消という本来の機能に加え、乳糖が分解されることで甘みが向上する効果があるため、砂糖不使用でも甘みを感じることができます。
その他に、酒類事業で培った発酵技術と免疫反応を利用した技術を活かし、さまざまな微生物の発酵・精製や培養の受託サービスを行っています。



グループ会社



ビッグマン すごむぎ 耐ハイ専科 しそ焼酎 鍛高譚 TAN TAKA TAN SHISO梅酒 電気ブラン NIPPON PREMIUM モメサンメルロー Chateau TAITSUNOKURA 純米大吟醸吟風50 元禄美人



しそ焼酎「鍛高譚」
公式Twitterアカウント
https://twitter.com/tantakatan_godo



しそ焼酎「鍛高譚」
公式Instagramアカウント
https://www.instagram.com/tantakatan_godo/

合同酒精株式会社

事業内容 酒類・食品・酵素・医薬品の製造販売
本社 〒130-0005 東京都墨田区東駒形1-17-6

設立 2003年(平成15年)7月1日
電話番号 03-6757-4020(代表)



博多の華むぎ 博多の華スモーキーオーク 博多の華The Rich 博多の華三年貯蔵 博多の華麦カップ さつま美人黒麹仕込 みだけのす〜と飲めてやさしいお酒 純米吟醸酒 富久娘上撰 福徳長上撰 和食と合わせる焼酎蔵のウキスキー



本格焼酎 博多の華
公式LINEアカウント
<https://page.line.me/158fpzbd>

福徳長酒類株式会社

事業内容 酒類・食品の製造販売
本社 〒271-0064 千葉県松戸市上本郷字仲原250

設立 1953年(昭和28年)7月1日
電話番号 047-315-5020(代表)



米蔵 ブラックストーン 41% ブラックストーン 25% そふと新光 あいぼう デラックス 梅の実しずく 秋田サワー 塩レモン 秋田杉GIN 一滴千両大吟醸 ピンクラベル 一滴千両大吟醸

秋田県醗酵工業株式会社

事業内容 酒類・食品の製造販売
本社 〒012-8511 秋田県湯沢市深堀字中川原120-8

設立 1945年(昭和20年)4月23日
電話番号 0183-73-3106(代表)

オエノンプロダクトサポート株式会社

事業内容 酒類・食品の製造販売
設立 1951年(昭和26年)11月21日
本社 〒657-0864 兵庫県神戸市灘区新在家南町3-2-28
電話番号 078-802-7800

株式会社ワコー

事業内容 酒類・食品の販売
設立 1979年(昭和54年)11月12日
本社 〒271-0064 千葉県松戸市上本郷字仲原250
電話番号 047-703-6311

ゴーテック株式会社

事業内容 倉庫業
設立 1979年(昭和54年)10月23日
本社 〒271-0064 千葉県松戸市上本郷字仲原250
電話番号 047-361-1271

株式会社オエノンアセットコーポレーション

事業内容 不動産の売買、賃貸
設立 1998年(平成10年)11月5日
本社 〒130-0005 東京都墨田区東駒形1-17-6
電話番号 03-6757-4587

持分法適用会社

株式会社サニーメイズ

事業内容 加工用澱粉の製造販売
設立 1968年(昭和43年)11月21日

本社 〒424-0035 静岡県静岡市清水区横砂南町2-1
電話番号 054-365-5180(代表)

拠点

生産拠点



1
**合同酒精株式会社
旭川工場**
 〒078-8334
 北海道旭川市南四条通20-1955
 TEL.0166-31-4131



2
**合同酒精株式会社
苫小牧工場**
 〒059-1371
 北海道苫小牧市字弁天1-11
 TEL.0145-26-8520



3
**合同酒精株式会社
酵素医薬品工場**
 〒031-0072
 青森県八戸市城下2-11-67
 TEL.0178-71-1204



4
秋田県醗酵工業株式会社
 〒012-8511
 秋田県湯沢市深堀字中川原120-8
 TEL.0183-73-3106



5
**合同酒精株式会社
東京工場**
 〒271-0064
 千葉県松戸市上本郷字仲原250
 TEL.047-362-1151



6
**福德長酒類株式会社
葦崎工場**
 〒407-0175
 山梨県葦崎市穂坂町宮久保5228-1
 TEL.0551-23-5843



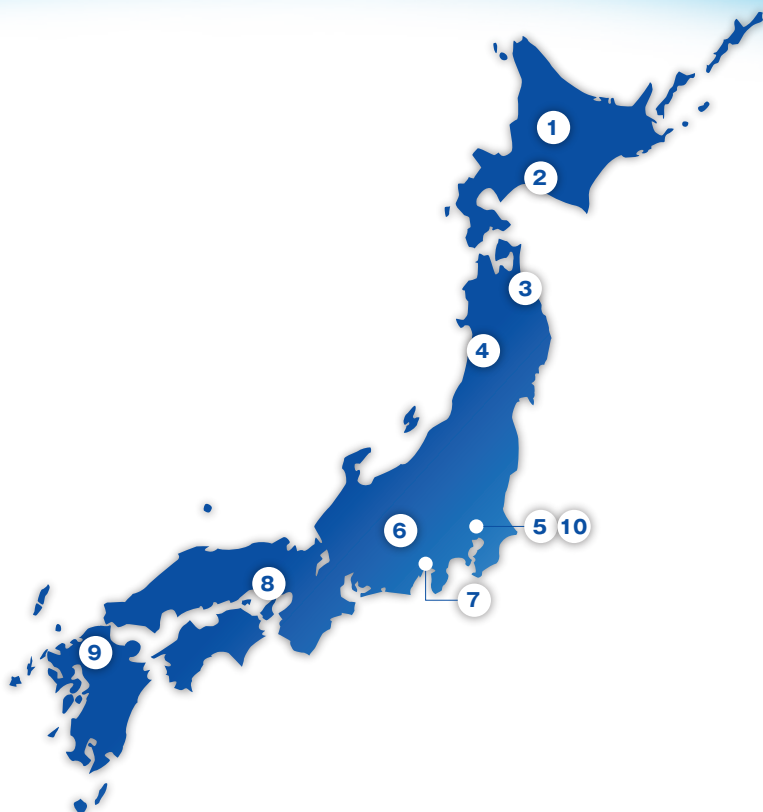
7
**合同酒精株式会社
清水工場**
 〒424-0035
 静岡県静岡市清水区横砂南町2-1
 TEL.054-366-1151



8
**オノンプロダクトサポート
株式会社**
 〒657-0864
 兵庫県神戸市灘区新在家南町3-2-28
 TEL.078-802-7800



9
**福德長酒類株式会社
久留米工場**
 〒830-0063
 福岡県久留米市荒木町荒木1200-1
 TEL.0942-26-3131



研究開発



10
**合同酒精株式会社
酵素医薬品研究所**
 〒271-0064
 千葉県松戸市上本郷字仲原250
 TEL.047-362-1158

サステナビリティ

グループ企業理念の下、具体的な活動テーマを5つとして、CSR活動に積極的に取り組んでいます。CSR活動を通じて、グループ企業価値の最大化を図るとともに、併せて社会とともに「将来価値の共創」を実現します。

活動テーマ



企業統治

- 経営の監督機能と執行機能を明確に区分した持株会社体制の採用
- 内部統制、コンプライアンスに関わる課題等を討議するCSR・コンプライアンス委員会を定期的に開催



人財活用

- 有給休暇取得促進、時間外労働の削減など、ワークライフバランスを充実
- 特別な休暇制度を拡充
- 障害者雇用の促進や雇用延長に対する積極的な取組み
- 副業・兼業制度の導入による主体的キャリア形成の推進



品質

- 徹底した品質保証・管理体制の維持と、安心・安全な商品やサービスの提供



環境

- 商品の販売を通じ自治体の環境保全活動を支援
- 廃水処理を行い、水質環境保全に貢献
- 省エネルギーの取組み



コミュニティ

- 文化芸術支援活動を通じた地域との交流を推進
- 従業員のボランティア活動の支援を通じた地域社会とのコミュニケーションの充実
- 株主優待や商品の販売を通じた、人道支援活動への寄付
- 次世代育成支援を目的とした取組み
- 除菌用アルコールの寄付・供給をはじめとした地域社会への貢献



次世代育成支援「工場見学会」を実施



新入社員によるボランティア研修実施



株主優待制度や商品を通じた人道支援活動への寄付



台風15号の影響により断水した静岡県静岡市清水区において飲料水を提供

SDGs 達成に向けた取組み

CSR活動を通じて、国連が提唱するSDGsを活動の目標に取り入れ、積極的に取り組んでいます。

リサイクル原料使用PET容器の、リサイクル原料使用割合を30%に引き上げ

「ビッグマン」「博多の華」をはじめとした焼酎・スピリッツなどの129品目に使用しているPET容器のリサイクル原料使用割合を、これまでの20%から30%にまで引き上げた容器に順次変更しました。リサイクル原料不使用のPET容器と比較し、リサイクル原料30%のPET容器を生産する際のCO2排出量を年間約23%、約695t*の削減が可能となります。



*2021年1～12月の販売実績に基づく推定値

今後も、環境に対する負荷を軽減する取組みを継続して実施することで、持続可能な自然環境の保護や脱炭素化社会の実現に貢献していきます。



すべてのRTD商品パッケージへの純アルコール量の重量表示を順次実施し、表示内容をユニバーサルデザイン(UD)フォント※に切替

アルコールメーカーの社会的責任である適正飲酒の推進を目的として、合同酒精が製造・販売するRTD商品のパッケージへの純アルコール量(g)の表示を順次実施し、2025年末までの完了を目指します。また、あわせて商品パッケージに記載する原材料名や栄養成分表示など、重要な商品情報の表示内容を、UDフォントへ順次切り替えます。



※できるだけ多くの人が利用可能であるようなデザイン(設計)をコンセプトに開発されたフォント。あらゆる人があらゆる状況で読みやすく、読み間違えにくいことを訴求して作られている。



オエノングループのサステナビリティに関するさまざまな取組みについて、ホームページで詳しく紹介しています。

<https://www.oenon.jp/csr/>



